

経営改善計画の達成・進捗状況 (平成27年度分)

●数値目標

▽稼働目標【達成状況】

	26年度実績	27年度計画	27年度実績	計画と実績の差
1日あたり入院患者数	119人	131人	133人	2人
1日あたり外来患者数	367人	435人	381人	▲54人
入院診療単価	37,573円	38,000円	37,649円	▲351円
外来診療単価	9,674円	9,200円	9,973円	773円
病床利用率	67.6%	74%	75.5%	1.5%

▽収支計画【達成状況】

	26年度実績	27年度計画	27年度実績	計画と実績の差
経常損益	▲249,046千円	▲201,552千円	▲121,227千円	80,325千円
減価償却前経常損益	176,207千円	225,848千円	264,319千円	38,471千円
医業収益	2,647,286千円	2,927,331千円	2,896,009千円	▲31,332千円
給与費対医業収益比率	71.8%	70.2%	69.1%	▲1.1%

● 具体的取り組み

(1) 収益確保対策

項目	27年度達成目標値	平成27年度取り組み	
		取り組み内容	実績値
医師確保に向けた継続的な取り組み	・常勤医1名増員	・院長中心に大学医局との継続的な関係構築。 ・従来未登録であった医師紹介会社への登録。	常勤医2名増員
救急患者受け入れ強化	・急患受け入れ率72%	・当院常勤医が不在や手薄になる時間帯において、アルバイト医師の積極的な活用。	・急患受け入れ率86.0%
病床利用率の向上	・病床利用率74% ・月平均紹介件数130件	・地域包括ケア病棟導入2年目となり、より厳格な運用のもと延べ患者数確保に注力。 ・内科医師増員による、内科入院患者数の確保促進	・病床利用率75.5%(対前年+7.9%)。 ・月平均紹介件数102件(対前年▲3%)
診療報酬の適正な算定	・入院単価:38,000円 ・外来単価:9,200円	・入院については、地域包括ケア病棟導入により、入院単価の底上げを図った。(丸々1年分の効果享受) ・外来については、透析患者増加に向けたプロジェクトとしての取り組みや整形外科における骨粗鬆症外来実施による検査料の増加、新患比率の向上により向上。	・入院単価:37,649円 ・外来単価:9,973円
保険診療外収益の向上検討	・健診受検者数増加 ・人間ドック受検者数増加	・宇陀市の住民検診等に係る政策影響や受検者のサービス向上に係る取り組みにより、検診・人間ドック受診者数増加。	・健診受検者数1,243人(対前年比235人増) ・人間ドック受検者数307人(対前年比176人増)

項目	27年度達成目標値	平成27年度取り組み	
		取り組み内容	実績値
患者サービスの向上	・年1回の入院・外来患者アンケート実施～改善取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度より、入院患者については全退院患者、外来患者については年2回実施。 ・結果を踏まえ、経営委員会等にて対応可能な課題について検討を実施。 	計画以上に細かい頻度で実施・分析中
	・予約枠あり方検討～具体改善取り組み	・平成27年度は小児科携帯電話予約システム導入を行ったものの、主要診療科の具体的な取り組みには至っていない。	主要診療科である内科・整形外科については引き続き検討中。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座年1回 ・健康教室等月1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民講座に関して、10月に「中高年に多い腰痛について」をテーマに開催。260名の地域住民参加。 ・健康教室については、糖尿病教室等従来から実施している内容については継続して実施しているものの、新規では未実施。 	市民講座10月に開催。 健康教室について、新規開催分は未実施。

(2)費用削減対策

項目	27年度達成目標値	平成27年度取り組み	
		取り組み内容	実績値
人員配置の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・職員給与費対医業収益比率73%以下 ・時間外勤務時間対前年度減少 	<ul style="list-style-type: none"> ・職種ごとに必要な採用数や常勤・非常勤区分等について、コンサルタントと協議のもと、適宜適正な配置を検証実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員給与費対医業収益比率69.1% (※平成26年度：71.8%)
材料費の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品使用割合60%以上 ・廉価同等品採用拡充 ・不動在庫削減 ※上記活動の継続	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して薬剤科において、後発医薬品への切り替え促進を継続中。 ・その他薬品・診療材料についても他病院市況価格等を参考に価格の見直しを実施。 ・薬品在庫について、毎月の棚卸実施のもと適正管理を実施中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後発医薬品使用割合67.1% (※平成26年度：66.8%) <ul style="list-style-type: none"> ・薬品費についても、前年度に比べ値引率約0.5%好転。
経費の抑制・軽減	<ul style="list-style-type: none"> ・委託費対医業収益割合12%以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の委託・保守業務について仕様見直し・事務職員への業務移管等により見直し実施。 【平成27年度契約分見直し】 「給食業務委託について」・「医療ガス保守点検を臨床工学科で対応」	<ul style="list-style-type: none"> ・委託費対医業収益比率10.6% (※平成26年度：11.0%)
	<ul style="list-style-type: none"> ・企業広告掲載実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内での検討の結果、当面期間実施を見送り。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なし

項目	27年度達成目標値	平成27年度取り組み	
		取り組み内容	実績値
	<ul style="list-style-type: none"> ・委託・保守・修繕等の計画策定 ・契約内容決定プロセスのルール化 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に実施した以下取り組みを継続して実施中。 ・事務サイド契約に係る内容については、大まかな計画策定。 ・契約内容決定についても、公けの委員会にて契約可否及びその内容の妥当性を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品購入検討委員会を開催し、契約可否等を客観的に評価・決定。 ・委託業務についても、主たる業務については担当者－コンサルタント間にて適正価格を協議し契約締結。

(3) 医療介護福祉の連携

項目	27年度達成目標値	平成27年度取り組み	
		取り組み内容	実績値
へき地医療拠点病院構想の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な施設認定に係る必要性等を奈良県へ提案。再提案に向けた院内調整中。 	提案内容等について継続検討中。
病病連携・病診連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> 月平均紹介件数130件（平成28年度時点） 随時課題対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺開業医に対してレスパイト入院受け入れのPR等を行っているものの、紹介件数は前年比で減少の結果。 	月平均紹介件数102件

項目	27年度達成目標値	平成27年度取り組み	
		取り組み内容	実績値
地域包括ケアシステムへの参画	・訪問看護、訪問リハビリへの参画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との調整ならびに院内人員体制を優先させた結果より、具体的な訪問サービスには至っていない。 ・但し、訪問リハビリについては、病院内で具体的方針・対応範囲等概ね了承済み。 	宇陀市としての地域包括ケアシステム構築に向けた検討継続中。

(4)その他

項目	27年度達成目標値	平成27年度取り組み	
		取り組み内容	実績値
人事考課制度導入	・医師職運用継続	・実際に運用を開始し、各診療科目標設定～評価までを実施。	概ね制度完成済み。
	・部門単位目標管理制度運用開始	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門単位にてBSCの視点に基づいた目標設定を実施。 ・進捗管理を実施。 	2年目となり、指標等も見直しの上、部門目標管理制度運用継続。
研修制度の充実	・研修費設定の見直し	・院外への研修参加を推奨し、研修費についても前年度より増額設定。	当該方針で当面对応を継続。
経営形態見直しの可能性検討	—	・現病院における経営改善に主眼を置き活動。	未実施。

平成28年度における取り組み

●数値目標

▽稼働目標

	27年度実績	28年度計画値
1日あたり入院患者数	133人	143人
1日あたり外来患者数	381人	450人
入院診療単価	37,649円	38,500円
外来診療単価	9,973円	9,400円
病床利用率	75.5%	81%

▽収支計画

	27年度実績	28年度計画値
経常損益	▲121,227千円	▲9,623千円
減価償却前経常損益	264,319千円	417,777千円
医業収益	2,896,009千円	3,176,825千円
給与費対医業収益比率	69.1%	65.1%

●平成28年度主な取り組み

(1)収益増加(※既存経営改善計画に記載の取り組みは継続して実行)

①専門外来開設

- ▶昨今、社会的な問題となっている睡眠時無呼吸症候群への対応として、睡眠外来を新たに開設予定。
- ▶短期の新規入院患者確保に努めていく。

②検診・人間ドック受検者の更なる取り込み

- ▶宇陀市からの対応要請も強い検診事業に関して、病院内の受け入れ枠の拡充・調整等により、更なる受検者の取り込みを図っていく。
- ▶また併せて、要精密検査受検者の当院受診にも積極的に対応を図っていく。

③廃用症候群リハビリ対応開始

- ▶以前から特に内科より要望があった廃用症候群リハビリについて、リハビリ部門の体制も一定整ったことから、対応開始を検討。
- ▶リハビリ料相当分の診療単価の引き上げならびに医療の質向上に寄与していく。

④地域包括ケア病棟のより精緻な管理

- ▶現状においても、一定の稼働率を確保し重要な役割を果たしている地域包括ケア病棟について、DPCの設定等を踏まえた適切なタイミングでの転棟管理・内科等の積極利用を促進していく。

⑤医師の負担軽減

- ▶国の方針としても推奨されている医師事務作業補助者に関して、より拡充を図ることで、医師の間接業務軽減に努め、本来の診療業務に注力出来る環境整備に努めていく。

●平成28年度主な取り組み

(2)費用削減・その他(※既存経営改善計画に記載の取り組みは継続して実行)

①後発医薬品の利用促進

➤現状においては、国が定める目標値60%をクリアしているものの、次期70%に基準が引き上げられる見通しとなっており、当院も70%を目標に更なる後発医薬品の利用促進を図っていく。

②新公立病院改革プラン策定

➤今年度中に全国の公的病院は、新公立病院改革プランの策定が義務付けられている。
➤当院としても平成32年度までの経常収支黒字化はじめ地域医療構想を踏まえた役割の明確化など、将来像を明確にすべく検討を進める。